

「社会資本メンテナンス戦略小委員会（第3期）」開催に先立ち頂いた  
主なご意見について

（1）「社会資本メンテナンス戦略小委員会（第3期）」の審議内容に関するご意見

- 第1期の答申及び第2期の提言では、講ずべき施策の枠組みが提示されたが、第3期では、計画を示すべきではないか。
- 計画性のある取り組みを推進するためには、財源や維持管理・更新費の見通しを持つ必要がある。

（2）市町村のメンテナンス体制に関するご意見

- 各施設分野や地域において、トップランナーとなる自治体を育て、その取り組みを他の自治体へ横展開させる必要がある。
- メンテナンスサイクルを確立するだけでなく、新技術導入や技術の継承を進め、それらを成熟度として評価していくべき。
- 技術者が減少する中で、マニュアル化等によって技術を継承する取り組みが重要。
- 市町村の維持管理の到達点を考える必要があり、メンテナンスの優先順位を付ける考え方も必要ではないか。
- メンテナンスを一律の基準に基づいて行うのではなく、自治体の地域性や地域整備計画に応じてメンテナンスのレベルを設定できる枠組みが必要。
- 地方自治体が事業費を確保するためには、管理会計によるアセットマネジメント計画を立てて事業費を明確にする必要がある。
- 点検が法律で義務づけられるなど、点検を実施することを求められているが、点検結果として問題点があがっても、（地方自治体においては）修繕等の対応をする予算も人もない。このため、（地方自治体への）国等の支援策を考えることが肝要である。